

令和7年2月11日

ご門信徒 様

宗教法人 光照寺

住職 濱寄重信

第33回 定例法座 ためして仏教！！ご報告

タイトル 「なぜ戦争になるのか。仲良く暮らすためには？」

日時：令和7年2月2日〔日〕13:30~15:30

場所：光照寺

講師：住職自勤

スケジュール：

13:30 お勤め

13:45 座談

14:30 法話

15:20 解散



座談の様子

惑染（欲望煩悩）の凡夫

戦争は、既得権や利権などの様々な要因が絡んで起きているようです。そして戦争は、その人が一番大切だと信じているものを否定したり奪ったりします。一番大切だと信じているものを否定したり奪われた方は、許したり仲良くしたり出来るでしょうか。

原因は、煩悩欲望により、真実を見失い道理に迷い、惑い、心が純粹でなく汚染されているからでしょう。だから物事を自分の都合で分別して見、比較して見、常に物を求め、思い通りにならないと腹を立て怒るのです。だから私からは、正しく信じる（まことの心）は出てこないし、南無（敬う、大切にすること）する心も出てこないのではないのでしょうか。

人との出会いによって、教えに出会い、自分に出会う

もし私が敬う、大切にすることが、出来たならばそれは、私から出てきた心ではなく、仏様から頂いた心でしょう。『蓮如上人御一代記聞書』には、「とうとむ人より、とうとがる人ぞとうとかりける。」人から尊敬されることも大事だが、自分自身が尊い人と会うことの方が豊かなのだと言われています。人間の尊さは、心から尊敬できる人に出会うこと。それは、帰依するものに出会うことになるからでしょうか。大切な尊いことは、人の生き方や姿勢を通して伝わるのかもしれませんが。親鸞聖人も七高僧を通して本願念仏の教えに出会われていられました。出会いを通して教えに触れると、同時に道理に背いて生きていた私の姿がはっきりするようです。そこから聞く心が開かれていくのかもしれませんが。他者と仲良く暮らすことは、難しいことのように感じます。もし仲良く暮らすことに近づくことが出来るとするならば、人との出会いを通して、教えを聞き続け、道理に背いて生きていた私の姿を自覚しながら生きていく事ではないかと思います。